

いなづま

題字 小寺寛一

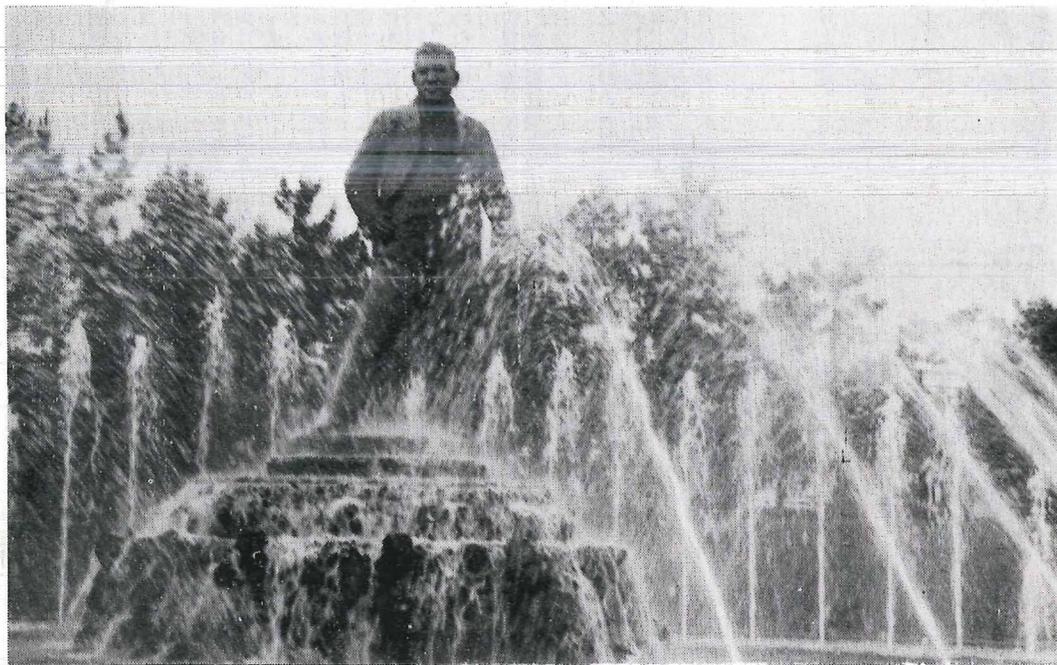
発行所 函館地方電気工事協同組合

編集 総務部

住所 函館市日乃出町7番22号

印刷所 有限会社 豊国堂印刷

函館名誉市民
若き日の平塚常次郎像



—— 卷頭写真説明 —— 【函館名誉市民、若き日の平塚常次郎銅像】

明治39年の春、沿海州黒竜江南端ブロンゲ岬の漁舎で意気投合した平塚、堤両青年は、翌年堤商会を設立し、帆船宝寿丸(162t)に乗り組み、新潟からカムチャッカ漁場に出漁した。これをきっかけに現地に缶詰工場を建て次第に事業を拡張していった。のちに堤商会は国策ののちと、企業合同を行なってついに母船式鮭鱒、カニ漁業で国内外に誇る「あけぼの印」の日魯漁業(株)に発展して根拠地の函館に日魯王国を築いた。

内線工事組合受付

に就いて

理事長 大倉伸夫

当組合では現在内線工事の申込みは、組合員個々が直接北電の窓口へ行っておこなっております。

本年度の事業計画で御承知の様に、最近の組合員の増加並電設工事の多様化等に加えて函館営業所附近の駐車難等もあり、組合事務所移転を機に、電設工事を組合経由で申込む事に致しました。目下そのための準備の作業を進めております。たまたまその業務の参考にするため道内及道外の組合を視察致しましたが、夫々の事情で内容の差こそあれ、その殆どが組合経由の申込みを行なっております。元来内線工事は業者の責任に於いて施行から将来の保安まで行なわなければならない性質のものであり、その工事に對する指導管理はあくまでも自主的に行なわなければならない意味から云っても、当然組合が統轄すべきものであると思っております。組合の行なおうとする業務は、組合員に對しては北電が現在行なっている受付から計器ブレイカーの払出し及び計器函及板の販売等一切であり、北電に對しては組合員を代行して交渉に当ります。本業務が軌道にのれば両者共相当の作業その他の合理化が図れるものと思われれます。但ここの当分函館市内に限られるので函館市以外の取扱いについてはその実施方法については皆さんの智恵を拝借し乍らよい方法を考えたいと思ひます。之等の業務を行うに就いては当然相当の経費が伴いますので、その成果を見て費用捻出方法等の研究を致します。

受付の窓口が組合に移す事に依り、名義貸行為の撲滅及アウトサイダーの組合加入促進更に将来設計精算の研究及適正価格の促進その他の協業化事業の実施等、組合として行う事業は限りなく開けてくるものと確信し各位の協力をお願いする次第であります。

役員会だより

五十・四・九

新しい組合会館に於て初会合を行う。
会合に先立ち大森稲荷神社より神主が来て修抜式を行う。

- 一、慶弔報告
成田電気工業所社長入院見舞
- 二、貸付報告
五社 五百五十万円也

- 三、各支部報告
四、四十九年度決算概況説明

函館電設業会から会館建設資金の一部として一金二百万円寄贈される。この金員は新年度に計上する事として今決算には含まれていない。

五、会館建設落成の報告
追加工事並びに変更の増減があつて契約時六百万円であつたが七百八十四万四千四百四十円也となつた。この金額の中には電気工事は含まれていない。電気工事は材料ともで五十万円はかかつている。設計料は二パーセントで十五万五千円也を支払つた。

六、什器備品購入の件
リストを事務局から提出されたので承認する。

七、窓口業務の件
担当を決めて職員配置その他研究をする。

八、昭和四十九年度総会並びに永年勤続表彰の件
昭和五十年五月二十三日市民会館小ホールで行う。

九、連合会報告
全日電工連の互助会にて積立られた会費が一億三千七百五十四万三千五百三十四円也となつたので、一社三百円の割で戻す事になった。道連合会として戻ってくる金額は四十九万六千九百五十円、当組合としては、六万二千一百円となるので連合会として積立て各単協には返さない。

十、建設大臣への推選
該当事がいない。

十一、技能五輪の件
開催日は五月二十四日・五日と決定した。

一、慶弔報告
中浜電気社長母堂死去
樺電工業株式会社母堂死去

二、貸付報告
二社 五十万円也

三、各支部報告
中渡島支部は支部長成田氏病氣入院の為代行として佐々木三男氏出席各支部とも同じ議題の報告提出である。

四、各支部報告
中渡島支部は支部長成田氏病氣入院の為代行として佐々木三男氏出席各支部とも同じ議題の報告提出である。

五、各支部報告
中渡島支部は支部長成田氏病氣入院の為代行として佐々木三男氏出席各支部とも同じ議題の報告提出である。

六、各支部報告
中渡島支部は支部長成田氏病氣入院の為代行として佐々木三男氏出席各支部とも同じ議題の報告提出である。

ある。
北支部の報告の中で中金より担当者を紹いて説明をうけた結果二百萬中金より借りた事例を報告する。
四、五十年総会の件五月二十三日午後一時より湯の川市民会館小ホールで行う。
役員は定刻より一時間前に集合の事
五、四十九年度決算五十年度の予算承認する。
六、役員会の構成
総務 猪又、吉田
訓練 森谷、平井（平井氏は監査なのであくまでも助言者である）
事業部 伊東、各支部長
経理 平沼、松崎（今回道議となつたので欠席がちとなるので理事長代行）

七、工事単価の改訂の件
今引あげられた明細は別記する。
八、昭和五十年全道組合員名簿作成の件
各個に作るより安く出来るので全道一括にする事になった。今後五年目毎に作成する。
九、公共事業労務費調査に伴う賃金台帳様式の統一の件
組合にサンプルが一部しかない。電設業会にも同じものが来ているので電設業会の方で取扱う。
十、建災防協会々費の件
監督署の外郭団体なのだが今回突然一社当り一千元の割で会費の請求が来たので、各業種にも同じ事がおこっているのので他の業種の組合と相談する。

一、慶弔報告
新組合会館落成披露
函館拓北電業株式会社長母堂死去
東興電気社長母堂死去
五月二十三日総会に於ける永年勤続者表彰

二、貸付報告
六社 二百四十万円也

三、各支部報告
各支部ともこの役員会が終了してからとの事である
四、各支部からの提案
未払出資金の件にて各支部同じような議論が出されている由の説明あり、一部誤解もあるので個々に話し合いをして納得のいくようにして早く満額に達するよう理事長より解答する。利息についても同様である。

五、新年度事業実施
理事長より説明あり承認

六、役員業務担当
前の役員会で一応の説明のあつた通り承認

七、昭和電気(株)名義並びに代表者変更の件
永年勤続の磯木進氏にゆづる旨の届出あり
八、移動役員会のスケジュールの件
九月九日・十日と決定した。出席人員は約五十・六十名位である。予算については連合会から三十万もらうがたりないのので本年の予算に計上してある。
九、社名入りのシールの購入方の件
仕事に責任を持ってもらう為に行う
十、建設業災害防止協議会々費の件先月の役員会で説明したが全々無視出来ないの市内組合員の三分一位の考へ方で会費を払うつもりである。
十一、北電より注意事項の件
竣功届がおくられたり、全々出でなかつたり相当数があるの北電より嚴重な注意をうけた。
十二、訓練校の件
卒業式は六月十二日と決つた。
十三、各事業主はぜひ出席してほしい。
道大会に出席前に予選の形で各支部対抗の競技をする。
十四、北電資材組合持ちの件
函と板が決定した。
十五、安全衛生パトロールの費用の件
一社当り一千元とする。

【組合員消息】
一、四月三十日 榊電工業社長平沼智子氏 母堂死去
一、五月十日 函館拓北電業株式会社長吉田要氏 尊父死去
一、五月十一日 東興電気工業所社長河合威氏 母堂死去
一、五月十二日 榊電工業社長榊義夫氏 尊父死去

【組合員の異動変更事項】
(住所変更)
一、(株)本間組
函館市東山町一四四番地八 函館市亀田町七番 二五号
電話 五五二四六一
一、(株)原田電氣商會
函館市新川三十一番十一号 函館市海岸町八番 一九号
電話 二一七三二二 電話 四二一八五〇九
一、(株)ユタカ電機工業所
函館市高盛町三番十号 函館市万代町六番二十二号
電話 五五四三三二 電話 四一五八九六

外線工事士認定試験

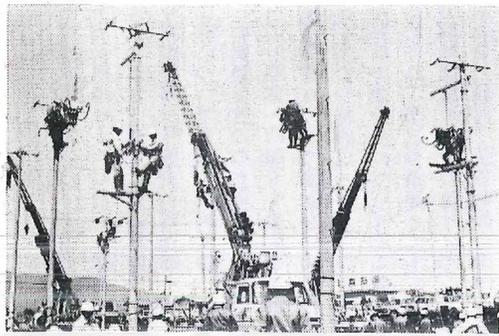
施行さる

近年、外線工事士の希望者が少なく、又既に有資格者であっても、職場を離れていき、外線工事業者としては、先き細りを心配していたが、去る五月二十九日の筆記試験、六月四日の実技試験には、一二〇名からの受験者が集り、函館地区試験委員会を喜ばせた。函館電気工事士の記録から、内容を拾ってみると次の様になる。特級工事士三八名、ケープル工事士七六名三級工事士三四名と多数の受験者があったことは、外線関係者にとって明るい見通しではなからうか。

筆記試験は前日に講習会を開催して、全員合格を願って、講師、受験者ともに熱心な講習会であった。筆記試験合格者による実技試験は九〇%以上の合格率であった由である。

その実技試験には、函館電気工事社有地（昭和町三八九）に於いて行われ、この模様は北海道新聞函館版に写真入りで詳細に報道された。

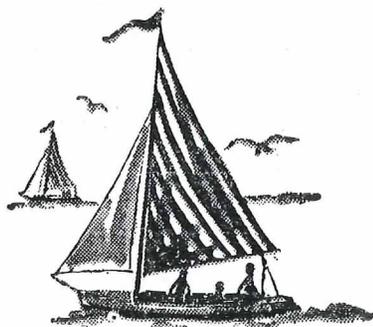
ついで乍ら、函館電気工事社では、去る総会に於いて、役員改選を行い新役員が誕生したが、前小池社長亡き後、空席になっていた社長に、佐藤輝夫専務が昇格し新陣容で今後運営されることになった。



組合行事

- 4月2日 訓練校主任会議
- 4日 連合会役員会出席
- 8日 いなづま編集会議
- 9日 第一回役員会
- 全 事務所開所記念式典
- 10日 労働保険年度更新講習会出席
- 11日 中渡島支部定例会議
- 12日 中支部定例会議
- 14日 北工連絡会全体会議
- 16日 北支部定例会議
- 18日 東支部定例会議
- 全 弘前地区電気工事業協同組合視察
(理事長他二名)
- 23日 西支部定例会議
- 24日 北電資材業務打合会議出席(於札幌)
- 5月8日 新事務所落成披露宴
- 全 第二回役員会
- 12日 中支部定例会議
- 全 北電資材業務打合会議出席(於札幌)
- 13日 東支部定例会議
- 16日 中渡島支部定例会議
- 20日 西支部定例会議
- 全 北支部定例会議
- 21日 連合会役員会出席
- 22日 金融委員会
- 全 窓口業務打合会議
- 23日 第二十七回通常総会(於函館市民会館)
- 全 昭和四十九年度永年勤続表彰式(於全右)
- 28日 訓練校指導員会議
- 29日 訓練校主任会議
- 30日 訓練部会打合会議

- 30日 建設業災害防止協議会役員会並総会出席
- 6月4日 在函館支部長会議
- 5日 電波障害防止協議会総会出席
- 6日 電気工事士試験特訓(学科)
- 8日
- 9日 第三回役員会
- 10日 建設業災害防止協議会役員会出席
- 11日 北支部定例会議
- 12日 連合会役員会出席
- 全 中支部定例会議
- 全 訓練校入学、卒業・修了式
- 13日 東支部定例会議
- 18日 いなづま編集会議
- 20日 小樽地方電気工事業協同組合創立二十周年記念式典出席
- 全 福島支部定例会議



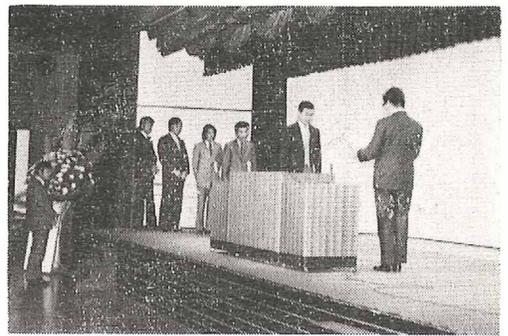
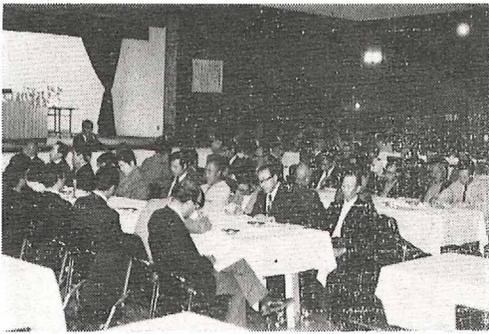
第二十七回通常総会終る

第二十七回通常総会は、去る五月二十三日午後一時より函館市民会館小ホールに於いて開催された。

理事長挨拶のあと、議長に横井雄吉氏、副議長に工藤義一氏を選出、第一号議案「昭和四十九年度事業報告並びに決算について承認を求めるとの件」より審議に入り、二・三の質疑応答のち承認された。

次いで第二号議案「昭和五十年事業計画並びに昭和五十年年度予算案について承認を求めるとの件」の審議に入り、役員手当の一時廃止・借入金返済計画・増資積立・旧事務所の処分等について約二時間に亘り活発に論議が交わされ、第三号議案とともに承認された。

最後の第四号議案の「その他」については大倉理事長より最近会費・品代・立替金等の未回収が非常に多いので、極力二ヶ月以内に納入して呉れるよう要望があり承認された。かくして時間切れのような幕切れであったが、第一号議案より第四号議案まで承認可決され、午後四時閉会、引き続き永年勤続表彰式が挙行された。



永年勤続者表彰

通常総会終了後同会場に於いて組合員一一一名、渡島支庁長、函館市長、北電函館支店長他関係筋の来賓一九名の参列のもとに、恒例の表彰式が盛大裡に挙行された。

勤続三十年以上の一名を始め総勢三十一名の受彰者の表彰状・記念品の授与後、大倉理事長の挨拶に引き続いて来賓の祝辞があり、受彰者を代表して(株)北電早坂金太郎氏の謝辞のち、受彰者の今日までの労をねぎらい、これからの健闘を祈りつゝ祝賀懇親会に入り、和気あい／＼の裡に午後六時三十分万才を三唱して閉会した受彰者の氏名は次の通りである。

| 事業所 | 氏名 | 事業所 | 氏名 | 事業所 | 氏名 |
|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|
| 勤続30年以上 | 1名 | 勤続15年以上 | 3名 | 共栄電気工業(株) | 森 繁 光 |
| (株)北電社函支 | 早坂金太郎 | タマツ電機(株) | 野呂広平 | " | 松崎幸雄 |
| 勤続20年以上 | 7名 | (株)日東電気商会 | 小山内次雄 | 平井電気商会 | 佐藤恵子 |
| (株)北電社函支 | 伊藤孝一 | 川口電気(株) | 桑高和久 | (株)加賀電気商会 | 神馬義広 |
| 大倉有線電気(株) | 飯塚寿明 | 勤続10年以上 | 20名 | 古川電気商会 | 小川満 |
| 樺電工業(株) | 小柴忠昭 | (株)北電社函支 | 小堀正春 | 大鎌電気(株) | 木村重信 |
| " | 葦沢武光 | 大倉有線電気(株) | 菅又国松 | " | 森見幸市 |
| 共栄電気工業(株) | 加賀定俊 | " | 菊地信彦 | " | 宮田修治 |
| 日興電気(株) | 亀谷善一 | 三興電機(株) | 関正光 | (株)日東電気商会 | 吉岡孝祐 |
| 日本電設工業(株)函支 | 小関秀松 | 樺電工業(株) | 横川克己 | (株)岩越電機商会 | 佐藤博 |
| | | " | 川本晃 | (株)荒井組 | 川股進 |
| | | 協信電気工業(株)函支 | 阿部正一 | 日本電設工業(株)函支 | 鶴喰政見 |
| | | | | 川口電気(株) | 泉巴津子 |

『訓練校』

第十一期生入学について

平井行衛

去る六月十二日、事業内訓練校では第九期生十四名の卒業式第十期生十八名の修了式第十一期生十八名の入学式を訓練センター内の当校で組合役員、事業主、父兄、校長、指導員多数の方々の出席の下に行われました。

理事長の祝辞、校長の訓辞の後、優秀賞、精勤賞、皆勤賞、努力賞をそれぞれ授与され、又、卒業生全員に工事士免状、記念品を贈りその蛍雪の功を労いました。想えば当校も第十一期生入学を数える歳月を経過して参りました。当時開校の為、関係官庁を訪れ、諸文書を繕ぎ、諸先生達の意を伺い、東奔西走漸く開校に迄漕ぎつけた苦心談を先輩諸氏に聞くにつけ、感無量のものが有ります。又、開校当初指導員を委嘱され授業を担当された方々の御苦心も大変なものだったろうと改めて感謝の念を禁じ得ません。

何事も発足以前、当初が大問題でありまして、それが解決されずと待望の軌道に乗ることになります。満十年を経過した今日、その軌道も長いものとなりました。その間、訓練生在籍数にも多少消長がありました。が、著実に定着し、組合内に於いても、若年技能者の教育指導について認識を深められ、積極的に御協力を頂いて居り、本年度も定員に充足致しましたことは訓練業務に携るものとして欲びに耐えません。又、単に入校生充足のみならず、既に卒業された訓練生も亦業界の中に在って中核的な働き手となって、事業所の発展に聊かでも寄与していることを思えば、過大な評価は避けるとしてもそれなりの成果を揚げ得たことを確信して居ります。



諸事物価高の折柄、苦しい組合予算の貴重な財源の中から訓練校費を大巾に頂き、組合員、役員、御高配に深く謝意を表します。

当訓練校も、道よりモデル訓練校を指定され、本年度は二年目になります。満十年の諸々の経験を活かし物心両面の技能者教育を願うのは独り指導員のみではなく、組合員全員、産業界の願いでもありません。その期待のなかに新学期も始まりました。校長はじめ指導員全員も新たな決意の下に、各担当科目を更編成し、よりよい授業を目指して取組んで居ります。十年経過のベテランも一、二年の新参も一体となって励んで居りますので、今後とも忌憚のない御意見、御批判を聞かせて頂き、御指導賜ればほんとうに幸せなことと思ひます。

随筆

アキナイ

西岡大成

新緑の候となり、我が電気業界も漸く不況のトンネルを脱出の感じの今日此の頃、「いなづま」より何か一言と云うことで、重い筆を運んでくる次第です。所詮電気屋と云うものは、一般にかく事は頭ばかりで（諸兄に失礼……）何を書いてよいやら。

「一升樹に一升」と云う諺の如く、いれものが小さいのに無理に詰めこむ、即ちパンクです。

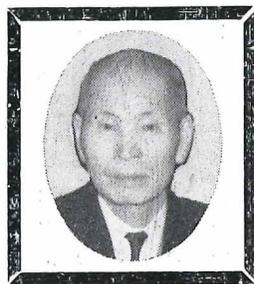
私も過去には階段に一度に十段もかけ昇りパンクした経験がありますが、その時始めて世の無情を知り、人の情を感じたものです。世の変遷は早いもので私の電気屋生活も早や三十年になろうとし、いろ／＼ありましたが、最近になって、何か少し世の中の事が判って来た様な気がします。

古えより「アキナイ」商というが、商売とは何か、良く考へてみると矢張り「アキナイ」飽きないに尽きる。漢和辞典をみると、商—牛の涎—と書いてあるが牛の涎を溜める如く、少しづつ大きくなりなさいと云う事らしい。

又経営とは何かを調べてみると、事業等を計り営む「苦心」と書いてある、私は思う、経営とは変化に適應する技術である。変化に適應とは資本（家）の原理に忠実であれ、すなわち投下資本に対し、如何に回収が良いか、利益があるのか、そして競争率の少ない市場に進出しなさいと云う事、しかも不幸にして投下資本の効率が悪く、同業者が乱立している市場では、如何に努力しても、経営能力を最大に發揮しても効果の薄い場合もある。その時はいち早く「エネルギー」を他の市場に向けたほうが得策の場合もある、チャンスをおぼむことである。

此の世の職順は土、農、工、商である、しかし最近では商、工、農、土であるらしい。我が業界は前述の工商兼業である。工業とは「政策」物を考へて作ることで、職商（シヨクアキナイ）である、電気屋は「アキナイ」か経営か、その人の考へによって違いますが、少くとも経営者ならん事を願ひ御一同の益々の御発展を祈る次第です。

追悼記



故早坂清吾氏は先ごろより病魔におかされ入院専心治療に努めておられたにもかゝらず、その効なく過ぐる七月一日ご逝去されました。

私共組合員一同心より哀惜の念に堪えない次第です。我が電気工事業界はかつてない試練の時に当たり、これを乗り切るには、永年の業界に於けるその豊富な知識と経験とに裏づけられた指導力に倣つところ大なるものがありました。氏が俄かに幽明境を異にされたことは、誠に残念なことで云わねばなりません。

早坂氏は大正年間、旧制宮城県古川中学校を四年修了后直ちに志願して、技術幹部候補生養成機関である横須賀の陸軍射撃学校の電気科へ入学、探海灯の電気関係の実施訓練に励む傍ら、電気理論を学び軍曹として卒業除隊後直ちに第三種電気主任技術者資格に合格し、北電の前身たる函館水電を経て、終戦后品沢電気(株)の経営を引き受けられ、今日に至るまで半世紀以上も一貫して電気関係の仕事一途に打ちこんで来ました。

その間、昭和二十三年十二月私共の函館地方電気工事協同組合が創立されると同時に卒先して加入され、組合の良き指導者としてその任にあたられ、今日の当組合を築きあげてこられた業績は我々組合員一同として、忘れることの出来ないことであります。このことは昭和四十八年三月、北海道電気協会主催による電気関係事業功労者の表彰式に於いて、名誉ある表彰をうけられた事が如実に物語っております。

天命はいかんともし難く、八十三才の生涯を閉じられました。氏の今日までに残された業績は不滅の道しるべとなって吾々を激励し、もって業界の一層の発展の一助となることを信ずるものであります。

おかめ八目

支部制の功罪

支部制の功罪について、時折考へる事がある。組合の運営と云う重大な責任と、組合員二〇〇余名の情報交換や指導をも担うという二つの責務を負っているのが理事である。この様な責任を背負う理事者を選出するのに、支部長即理事と云う様な選出方法を考へ出した現理事者にも問題があると思う。

先日の定時総会ではないが、役員報酬を払わなくてもいいと云う組合員が多数いると云うことは、組合員の支持不足か、認識不足か何れにしても、当の理事者に対して『苦勞さまで』といわざるを得ない。

支部制が行われてから二年有余になるが支部会議がそれ／＼に毎月行われて、形の上では正常に運営されている様にみえる割には、各支部が役員会の方針をマチ／＼に受けとめている様である。

役員会の論争中のもの、又は未決定な問題等がすべて支部に流れることが、意志の統一をさまたげる原因の一つになってはいないだろうか。

組合会館建設及び出資金増額の件にしろ、役員会の意志統一が不充分であったから各支部の受けとり方も、反応もそれ／＼に違ったものとなるのであろう。

これは支部会議での、各支部長の報告やそれに対する討論の方法にも問題があると思う。役員会の討議を、決定、未決定の別なく、徹に入り細に亘って克明に説明するタイプと、比較的簡単に報告するにもかゝらず、未決定の件については支部長自身の主観をまじえて説明するために、支部員はほぼ全体が問題に對しやゝズレた解釈をする場合がある。

この二つのタイプの何れも、支部長の非ではなく、支部長としての責任と熱意のあらわれであると解釈するが、それにしても役員会に於ける諸案件の討議の進め方や運営に工夫を要するのではなからうか。支部長は支部のための理事者であってはならないし、

あくまでも組合全体の理事者であってはほしい、御苦勞な事で、マジメにやる程、役員会と支部員との板ばさみで、大変な役割りであると思う。

当組合では昔から、白を白、黒は黒と云わずに、今回は白を黒にしておこうとか、あれは黒だが前例もあることだから白にしようとか、あいまいな処が多いと思う。

組合の運営は組合法にもとづき、組合員の利益を護るためであれば、若干の犠牲があっても、正は正、不正は不正と決断してもらいたい。と共に、各支部の運営や結束、支部長の権限等、もう二年余も経たことでもあり功、罪共よく再検討を加へ、組合の基盤組織である支部がこれ以上繁雑な機構にならぬ様、充分留意すべき時期にさしかゝった様な気がする。

総会にて

先日の総会での事、理事者側よりの提案で役員報酬を辞退するとの報告があった。

この件に関して質疑が相次ぎ、議長がこれを採決にもちこみ、役員報酬辞退の賛否を問うた処、辞退賛成が多数で一件落着した。

しかし、一寸おかしい話ではないか。我々は皆それ／＼に事業主で忙しい毎日を送っている事は皆同様であると思う、その多忙の中をさいて、組合運営のために活動している役員達に、御苦勞様ですと若干でも手当をたすのが同志としての心情ではなからうか。

もし理事者に不満があり、報酬を出すには余りにもマジメであるとも云うのであれば、この様な理事者を選んだ組合員にこそ責任があるのではないだろうか。来年の改選には、役員報酬を充分に支払って組合のために一生懸命、尽くしてくれる人を選んでほしいものである。

P H O T O

「乃木將軍夫人の訓」

猪股 貫一

私が中学校四年の時ある先輩から薦められた本に乃木静子の「母の訓」がある。

これは武家社会の妻としての心得帳である。「いなづま」前号でその一部の「閨の御慎みの事」が取上げられたので前号を参照しながらこの稿を読みたい。川上宗薫や宇能鴻一郎の名著を愛読してゐる現代の若い人には、この「御慎みの事」を読んでセックスに対する倫理感やモラルに相当の時差を感じるに違いない。

女流作家富岡多恵子はこのような閨中作法、つまりしっかり顔をさし当てる、からだを余り動かすな、心地よくて耐らなくとも大声で叫ぶな、紙の音をたてるな、用事が終わったら黙ってぬれた手拭をさし上げる、などは、まことにニッポン的美学の伝統とでもいへべきもので閨中美学というか、茶の心得を説かれてゐるような気持になるとチャカしてゐる。この女流作家は昭和生れで第二次世界大戦が終わった時は小学生であり、年頃になってゲーパンの片膝を立てて新聞を読んでゐる自分を明治生れの母親が見て「昔やったら丸見えやがな」叱られるのは何故なのか、又乃木夫人が自刃する時に膝をヒモでしばったのは何故なのか、昭和七年白木屋百貨店(現日本橋東急百貨店)に白昼火事が発生し、逃げ遅れた人達が高い窓からとび下りても安全なように布団や毛布を地上に敷いてゐるのに、女性だけが躊躇してとび下らず多数焼死した話を聞いて何故なのか解す、あとでその頃の日本女性は、着物の下にパンツをつけてゐなかつたからだ知らされ始

めて納得したという。

パンツを和服の下に着用する習慣になったのは新しく、この白木屋火事事件によりその必要が叫ばれ昭和九年朝日新聞に「日本婦人にズロースなく門戸開放すぎる」と社説に出た程で一般に普及されたのはモンペの着用を強制された第二次世界大戦中からである。

外国婦人のパンツを一番はじめに見た日本人は、幕末に使節団長として渡米した、新見豊前守に随行した玉虫たまむしという侍で「女は……股には白布の股佩こはひを服す」と「航米目録」(一八六〇年)に記してある。ただこの侍がどんな場所ところで白布の股佩を拝見したのか詳でないのが残念である。

パンツ談から横路にそれたが一時代の風俗習慣がその時代の倫理感やモラルと密着し、相当の影響をあたえることは否めないし、徳川武士の流れをくむ明治の軍人しかも陸軍大将夫人ともなれば、膝をヒモでしばって自刃したのも当然で、八寸の鐵通てつとの上に身をふせ自分の心臓を突き刺し髪毛一筋乱れることなく息をひきとったのだから全く立派という外はない。

かよわい女性をして何がこんなエライ自刃作法を行はしめたり、エライ閨中作法を書かしめたりしたのか。

それは徳川中期以降の儒教の影響である。儒教の本来のおしえは身と心とがバランスよく自由に伸展し、人間生活の円満な活動の謳歌を基本とするものであったし、その精神は徳川中期まではあらゆる面で生かされてゐた。だが幕府は武家社会の存続、というより男性である武士の御都合主義を保全するため、特に女性の自由を規制し自然の姿での行動を抑えるためのきつい「訓話」をつくり習慣づけさせ、それが武家社会に定着し明治の軍人にひきつがれた。武家社会は男のバラダイスにしなければならなかった。そのおしえを純粹に受継いでゐる乃木夫人は女としてよりも殿御のため武人の妻として生きる道を第一義と考えなければならぬのは当然である。もっともこの思想は武家社

会に強要されたマナーで、一般庶民にはもっと大らかな振舞が許されてゐた。だからこそ恋川春町(遺精先生夢枕)恋川笑山(旅枕五十三次)平賀源内(長枕褥合戦)西村定雅(色道禁秘)大眠子(花街風流解)その他数多くの春本作家が続出し広い読者層をもつてゐた。

なにかの手段でひそかに春本を手に入れ、頬を赤ながら読んでゐる奥方様を想像し、庶民は「このように叫んでみたいと武家の妻」と同情してゐるのも面白い。

『母の訓』に於ける妻の在り方は男対女のナマナましい関係はあり得ない。富岡女史の言葉を借ると妻はエロス(性愛)による結びつきよりアガペー(キリスト的愛)による精神的御守菩薩たれという。

夫のいかなる行動にも妻は、いつもニコニコ受け入れよのおしえは現代もかなり執拗に受継がれてゐる伝統的パターンではあるが、ノラ(イブセン作「人形の家」の女主人公)の出現以来妻の座は徐々に拡大され現代ではかよわい夫を台所に追いやる程の偉大なパワーになりつゝある。

「あなた、もう終っちゃったの、駄目なのネ」と女房に尻べたをひっぱたかれる現代の夫には静子夫人の『閨の御慎みの事』のおしえはモロコチかチベットか又は夢の国でなければ存在しないと考へてゐるのではなからうか。



暑中御見舞申し上げます

あかるい明日を技術でひらく

東芝電材株式会社

函館営業所

040 函館市大縄町二十二番十四号

電話 函館 ㊹ 二二二四一

新しい住まいづくり

松下電工株式会社

函館営業所

函館市昭和町三九六の一

電話 函館 ㊹ 五八二二一

工事材料・電化製品

丸晃電気株式会社

函館市西桔梗町五八九・四九

電話 ㊹ 一三三一一

全道随一の照明設備センター

電設機器資材の総合電機卸

大興電機株式会社

本社 函館市千才町五の十

電話(代) ㊹ 六二一一一

照明 函館市千才町十九の三

電話(代) ㊹ 七一四八

出張所 札幌 八雲 福島

総合卸商

隆東電機株式会社

函館市西桔梗町五八九・一〇八

電話 (49) 六二二六

電設資材・機電総合卸

進和電機株式会社

040 函館市松川町三四一・一三

電話 ㊹ 六二三一一

明日をひらく

電設資材の総合卸商社

株式会社工ミヤ商会

函館出張所

函館市豊川町七番二八号

電話 ㊹ 三〇二二一(代表)

本社・札幌 支社・東京 営業所・釧路 出張所・苫小牧

電気工事材料

石垣電材株式会社

函館出張所

本社 〇〇 札幌市中央区北六条西三丁目二番地

TEL(〇〇) 三三九一一(代)

本店 〇三 苫小牧市末広町七番地

TEL(〇三) 四二四二三七(代)

出張所 〇四 函館市八幡町二〇番一三三号

TEL(〇三) 四一一一三八三

電設資材総合卸商社

株式会社 佐久間電気商会

取締役社長 佐久間正明

函館支店 函館市昭和町一〇四の四

TEL 四三二四二一一

本社 札幌市白石区菊水南町三丁目一五九

TEL 八四一一三三二(大代表)

室蘭 苫小牧・釧路 帯広・小樽